



議会だより



おとうさん！早すぎる、怖いけど楽しい。
猪苗代保育所 最後の「うんどうかい」

平成 26 年 9 月定例会

◆あらまし・議案審議	2
◆決算状況	3
◆予算決算審査特別委員会	4
◆決算の意見	5
◆臨時会	6
◆一般質問 9 人が登壇	7～15
◆委員会レポート・請願	16～17
◆町民の声	18

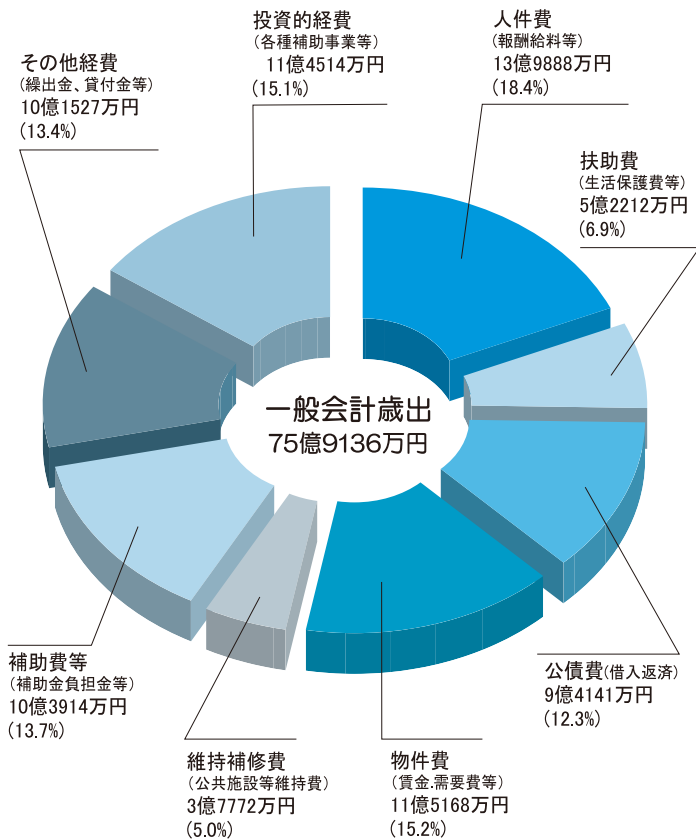
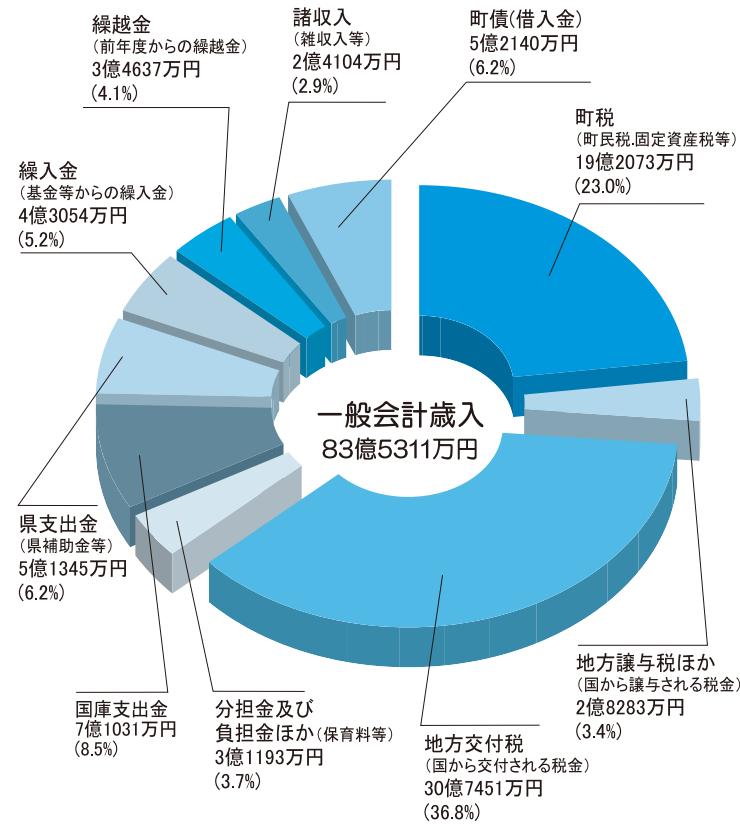


日の出と共に花を開く！
エゾオヤマリンドウ(蝦夷御山竜胆)

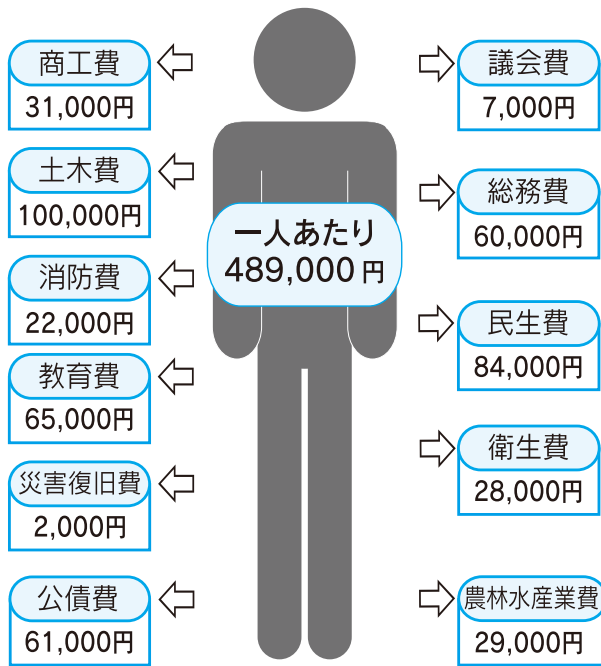
福島県 耶麻郡 猪苗代町 字城南 100 番地

<http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/>

9月定例会は、9月1日から11日まで開催されました。
町長から提出された議案は、25年度の決算認定3件、26年度補正予算13件、条例の一部改正4件、条例の廃止1件、人事案件1件であり、すべて原案のとおり認定・可決しました。
一般質問は9人の議員により2日間にわたり行われました。
また、委員会提出議案1件が提出され全会一致で可決されました。



町民(15,521人)一人あたりの主な使いみち (一般会計)



《平成25年度歳入歳出決算の認定について》

【五十嵐ミエ子議員】

認定ごとも園は最初から設置場所について反対していた。今も変わらず反対の立場でいる。そのため、この決算についても反対。

《平成26年度一般会計補正予算》

【五十嵐ミエ子議員】

補正予算4億5,821万4千円のうち、大半をしめる道の駅整備事業費の工事請負費の3億円の増額は認められない。農地を潰して道の駅を作ることは反対。農地は地域における最も重要な資源である。道の駅整備事業への過剰投資は避け、見直すべき。以上のことから反対。

【佐藤 悦夫議員】

防災無線機を各家庭に設置するのに約3億円かかるから大変であると答弁している一方、土地造成のために3億円をあげている。このことは承服できないため反対。

【議案内容と可決状況】

件名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤 悦夫	佐藤 英一郎	長澤 操	金本 久美子	渡辺 真一郎	五十嵐 ミエ子	後藤 公男	渡部 博幸	山田 長平	関沢 和人	鈴木 武喜	六沢 進	佐藤 光幸	長沼 一夫	
平成25年度猪苗代町歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
平成26年度猪苗代町一般会計補正予算 (第4号)	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
猪苗代町税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○	×	×	○	○	○	○	可決

上記以外の19議案については全会一致で可決しました。

※賛成は「○」、反対は「×」、採決時届出欠席は「欠」、議長は採決に加わらない。

平成25年度 会計別決算額

会 計		歳入 決算 額	歳出 決算 額
一 般 会 計		83億5311万円	75億9136万円
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	18億8475万円	17億6674万円
	後 期 高 齢 者 医 療	1億6010万円	1億5998万円
	介 護 保 険	14億3833万円	14億1578万円
	下 水 道 事 業	7億860万円	6億8950万円
	特定環境保全下水道事業	1億8312万円	1億7261万円
	農 業 集 落 排 水 事 業	2億1110万円	1億9947万円
簡 易 水 道 事 業		1億2522万円	1億2522万円
病 院 会 計	収益的収支	4806万円	5133万円
	資本的収支	537万円	1億3963万円
水 道 会 計	収益的収支	2億9809万円	2億6045万円
	資本的収支	310万円	5050万円

※千円以下の端数切り捨て。

※財産区特別会計の決算額については省略。

議案審議

予算決算審査特別委員会

【主な質疑】

《税条例の一部を改正する条例》
軽自動車税の税率改正

問 現在の保有台数と、増える税収は。いつから税金アップとなるのか。

答 原付50cc以下、646台。50ccから90cc以下、53台。90ccから125cc以下、41台。ミニカー23台。軽二輪165台。軽四輪以上のものは、ナンバーの交付を町では行っていない。全体で、計308万7千円の税収が増えるの見込んでいる。

平成27年4月1日よりアップとなる。それ以前に取得したものは現状のまま移行し、丸13年を超えた場合には特例があり若干あがる。

反対討論！

【五十嵐三子議員】

法律で安くなっていた軽自動車の税金があがることは、庶民の暮らしを悪くするので、町の条例に転嫁する税率について反対。

【佐藤 悦夫議員】

地方が疲弊した状態の中で、軽自動車等は大切な住民の足となっている。また14年を経過した車の税金をあげるとなっているが、物を大切にする観点からも、逆に下げてもらっても良いと思い反対。

《商工費》

問 観光施設整備事業費1970万1千円減額で、志田浜公衆トイレ改修が見合わせとなっている。地権者とはどのような協議をしたのか。

答 当初は現在の場所に整備する予定で地権者と協議してきたが、現在の場所を含めて全体的な整備計画を作成したいという話があったので減額をした。

《土木費》

問 道の駅整備事業費の工事請負費3億円の内容は。

答 造成について仮の調整池と水路を造り表土を剥いで、1万5千㎡に2×3mの盛土、最大で4万5千㎡をするが、一般の補正予算では盛土の半分程度の土砂採取であり、残り半分の土砂採取が必要である。

《教育費》

問 備品購入費1700万円は助成金の交付を受けてバス3台購入するののか。

答 乗車人数52人が1台、23人2台で、助成が該当しない。日本財団は23人2台が対象となるが、12月にならないとわからないので今回計上した。

議長を除く15名の委員で、平成25年度決算3件、平成26年度補正予算13件を審査しました。

【主な質疑】

平成25年度決算

一般会計

歳入

《町税》

問 公売等で収入にあがったものがあるのか。

答 公売実績は26件で、179万1300円である。

問 震災前と比べて税収はどのくらい回復しているのか。

答 町民税の現年分で21億8千万円、平成25年度で22億6千万円、約1億円伸びている状況である。

歳出

《教育費》

問 さくらこども園発電設備設置工事105万円の内容は。

答 非常時における電源として、事務室と遊戯室に非難された方のための電源である。

問 吾妻中学校除染業務委託の内容と結果について。

答 側溝の除染と校舎と校庭のあいだの線量が高かった部分の土砂の入れ替え等の作業で、結果として半減以上の効果があった。

問 圧雪車リース料は何台分か。

答 クロカン用の1台分である。

病院事業会計

問 損益計算書の当年度末処理欠損金が3億98万1056円となっているが、どう処理しているのか。

答 損益計算書上は欠損金となっているが、病院債の償還と一般会計からの負担、基金からの取り崩しで処理をしている。

平成26年度補正予算

一般会計

歳出

《農林水産費》

問 2月の暴風雪被害の補助金についての内容と町の負担は。

答 施設の復旧・資材の購入については、国は100分の50・県が100分の25・町が100分の15、農業者が100分の10、施設の撤去については、国と県が100分の50ずつで農業者の負担は無く、種苗の購入については県単事業の活用で、県・町・農業者がそれぞれ3分の1ずつとなっている。

問 農地・水・環境保全向上対策事業の委託料333万7千円の内容は。

答 協定農用地地図作成委託料で、協定農用地が平成25年度に比べて17地区増えて53地区となり、保全活動や現地確認に活用するために、県の補助金を活用し県土地連に委託し作成する。

問 負担金1295万3千円は新規17協定の追加分か。

答 平成26年度から多面的支払交付金に変わったため、既存地区の増額分と新規地区の追加分となっている。

平成25年度一般会計決算の意見

【決算の規模】

平成25年度の決算規模は、一般会計と特別会計(11会計)を合わせた決算額で、歳入総額130億9289万8千円、前年度比3.3%の減、歳出総額121億4762万5千円、前年度比6.5%の減で、歳入歳出とも前年度を下回る決算となった。

【歳入】

一般会計の歳入では、前年度より町税が205万4千円の増、地方交付税が7258万2千円の減、国庫支出金が2億8426万6千円の増となったが、県南・会津・南会津地域給付金事業の完了により、県支出金が前年度より11億6371万3千円の減となった。

地方交付税のうち普通交付税が経常的収入となり、災害復旧費の減が主な要因で経常的収入は前年度に比べ5380万6千円の減となった。

臨時的収入が県支出金の減により、前年度に比べ6億9657万1千円の大幅な減となった。

【歳出】

歳出では、扶助費が県南・会津・南会津給付金事業の完了により前年度より11億488万4千円の減となった。経常的経費では、風評被害対策事業の減少や採草地除染作業業務委託事業等、物件費が前年

度より4856万6千円の減。維持補修費が前年度より510万6千円の減となった。

【町債】

町債は一般会計で前年度に比べ2億9752万円の減、特別会計で1億7007万8千円の減、合計4億6759万8千円の減となった。

【基金】

基金は小野弥太郎記念育英基金2183万円、中津川溪谷レストハウス基金25万円が新たに設置され、財政調整基金は2億2479万9千円減額された。

【まとめ】

震災復旧事業、原発事故による放射性物質対策事業の完了などにより平成25年度の財政の指針となる指数は概ね良好ではあるが、今後、道の駅整備事業や川西こども園整備事業など大型の重点事業や、過疎計画に基づく地域振興事業が執行される予定であり、自主財源の確保が容易でない状況、扶助費や維持補修費の増加が見込まれることから、財政の安定を考慮した予算執行が求められる。

雄 光 笠 折
久美子 本 金 委員 委員 監査

一般質問 町政を問う



細貝 功人 議員

Q. 防災士の育成についての考え方は
A. 防災力向上の観点からも必要であると考えている

高齢者の生活支援対策は

【細貝】高齢者世帯への体制づくりの状況は。

【答弁】緊急雇用創出基金事業を活用した在宅高齢者等支援事業や、地域包括支援センターによる、高齢者世帯等の安否・生活状況の確認活動を実施し、町では認知症サポートと介護予防ボランティアを養成している。

【細貝】高齢者への振り込め詐欺の実態と被害防止対策の状況は。

【答弁】平成25年度になりすまし詐欺が1件。今年度は2件の被害が報告されている。被害防止対策として、高齢者を対象としたサロン事業において警察署から防犯のための講話を現在2カ所で実施していたが、今後1カ所を予定している。

高齢者の生活支援対策は

【細貝】成年後見制度の利用状況は。
【答弁】成年後見等の申し立てを行う親族等がないため、町が家庭裁判

防災士の育成について

【細貝】防災士の育成についての考えは。
【答弁】地域の防災活動に積極的に参加し、防災のリーダーとして活躍できる町民の方々や町職員を「防災士」として育成することは、防災組織の普及啓発や地域の防災力向上の観点からも必要であると考えている。

【細貝】自主防災組織において、防災士を活用することについての考えは。



放置状態の水車小屋

緑の村施設整備について

【細貝】放置状態である水車小屋の整備についての検討結果は。

【答弁】今後、老朽化している緑の村の施設全体の見直しの中で、幅広い検討を実施したいと考えている。

【答弁】平成26年度において町内の行政区は44地区。防災士の活動は、防災と減災の啓発であり、各自主防災組織において防災士を活用して、防災意識の高揚を図ることは、大変有意義である。

臨時会
(7月17日)

除雪ドーザ 13t級車輪式を取得

あらまし

平成26年第3回臨時会は7月17日開催され、補正予算1件、財産の取得1件を審議し、全会一致で可決しました。
また、渡辺眞一郎議員より会津若松地方広域市町村圏整備組合議会議員を辞したい申し出があり、議長の指名推薦により選挙が行われ、細貝功人議員が選出されました。

【審議した議案】

○平成26年度一般会計補正予算

臨時福祉給付金事業と子育て世帯臨時特例給付金事業の交付金不足額として1761万5千円を増額計上。

○財産の取得

除雪ドーザ13t級車輪式を1614万6千円で取得。

【主な質疑】

問 臨時福祉給付金事業と子育て世帯臨時特例給付金事業の対象人数は何人増えたのか。

答 臨時福祉給付金は当初2526人見込んでいたが、申告が終了し住民税が確定したところ対象者は3204人となった。子育て世帯臨時特例給付金は当初1492人見込んでいたが、1800人となった。

臨時会
(8月11日)

「川西認定こども園」整備に着手

あらまし

平成26年第4回臨時会は8月11日開催され、契約締結案件3件を審議し、すべて原案のとおり可決しました。

【主な質疑】

問 工期の延期は。

答 現在のところはない。

問 機械設備工事が非常に寒い時期になるが、その時期に工事を行うことの悪影響があるのでは。

答 外回りのつなぎこみについては厳寒期を避けても冬季にはかかってしまう。建築本體工事、電気工事、機械工事の冬季にかかるものについては養生も含めて影響のないよう配慮しながら進める。



(仮称) 川西認定こども園 外観

反対討論！

【五十嵐ミエ子議員】

工事に多額の税金をかけるのではなく、こども園について小さくして考えていくべきでは。この先がとても不安であり、こども園建設について納得がいかず反対。

賛成討論！

【金本久美子議員】

お金がかかりすぎるから反対とのことだが、全員協議会で、いくらからいかかるかについて話しがあった。町民の皆さんは一日も早くこども園の建設と、来年度の4月から入園したいと望んでいる。今回、契約を取り交わすことが出来るということで非常に良かったと考えており賛成。

【議案内容と可決状況】

件 名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	結果
	佐瀬 真	細貝 功人	佐藤悦夫	佐藤英一郎	長澤 操	金本久美子	渡辺眞一郎	五十嵐ミエ子	後藤公男	渡部博幸	山田長平	関沢和人	鈴木武喜	穴沢 進	佐藤光幸	長沼一夫	
(仮称) 川西認定こども園建設（建築主体）工事請負契約の締結について【契約金額 8億8560万円】	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	－	可決
(仮称) 川西認定こども園建設（電気設備）工事請負契約の締結について【契約金額 1億2819万6千円】	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	－	可決
(仮称) 川西認定こども園建設（機械設備）工事請負契約の締結について【契約金額 2億1060万円】	×	○	×	○	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	－	可決



佐藤 英一郎 議員

Q. 行政区組織の現状は

A. 9月1日現在、109行政区4707世帯

行政区外世帯数と住民対応は

【佐藤】未組織地区の住民対応等災害時における対応は。

【答弁】146世帯の外、行政区未加入世帯が27戸。町民の方々にお知らせするものについては、個々に郵送により届けており、災害の情報は町の防災行政無線により伝えていく。

【佐藤】未組織について災害時など一帯では対応できないのでは、今後の対策は。

【答弁】災害時などは要支援者、高齢者の方々などを含め一世帯では対応できない場合が多くあり、その際は行政区、自治会組織が有効な働きをするため「行政区の編成」並びに「自治会」など、そういった組織を作っていただくよう働きかけをしていく。

【佐藤】行政区長の災害補償の現状と、今後は。

【答弁】非常勤の地方公務員であり、条例により補償されることとなっている。

空き家対策は

【佐藤】空き家の実態調査で、平成19年度91件、平成25年度186件となっている。この数字は各行政区よりの回答数字であり、回答がない部分を含めると実際はこれ以上と推定される。現状と対策は。

【答弁】空き家の活用という部分での実態把握も必要である。実際に取り引きされるのか、対応策を検討していきたい。正確な数を把握することについては今後検討する。

【佐藤】空き家バンクの活用は、いつまで決めて取り組むのか。

【答弁】空き家バンクを創設することは、空き家の利活用と定住促進を図る意味でも有効な手段であると考えており、空き家バンクを創設したらよいかな年度内には取り決めた。

大気汚染に係る対応は

【佐藤】注意喚起がなされ、本町では防災行政無線による注意喚起、及び回覧による周知であった。今後の住民に対する対応は。



望まれる空き家対策

【答弁】PM2.5を含む光化学スモッグを併せた「大気汚染に係る注意等発令時の対応マニュアル」を策定、防災行政無線により周知する。

【佐藤】会議をひらいて住民、学校関係に混乱をしないように、対応を含めて周知をすることが必要であったのでは。

【答弁】今後は全体区長会等の機会を捉えて大気汚染について広報、説明等をしていきたい。

※空き家バンク：空き家の賃貸・売却を希望する人から申込みを受けた情報を、空き家の利用を希望する人に紹介する制度。
※PM2.5：大気を漂う粒子状の物質で、大きさ（粒径）が2.5マイクロメートル以下のもの。吸い込むと肺の奥まで入りやすく、肺がんやぜんそくを引き起こす危険性がある。



金本 久美子 議員

Q. (仮称)川西認定こども園は平成27年4月に開園できるのか

A. 4月開園を目標に努力していく

(仮称)川西認定こども園事業は

【金本】進捗状況と今後の見通しは。

【答弁】こども園建設工事は完成工期を平成27年3月27日と定め、並行して地中熱利用設備工事、園庭整備工事、フェンス設置工事、植樹植栽工事、駐車場整備工事、建築外構工事、厨房設備工事、備品等を順次補正予算を考慮し、発注していく。

冬期間の工事にかかる懸念もあり、困難もあると予想しているが、今のところ工期内の完成を目指している。

【金本】入園見込みの児童数は。

【答弁】0歳児12人、1歳児24人、2歳児36人、3歳児90人、4歳児90人、5歳児90人の342人を計画しており、待機児童は解消できる。

【金本】スクールバス購入と運行計画は。

【答弁】バスを3台購入する予定であり、運行計画は通園する園児の居住地域により作成する。園児の負担を考慮し、乗車時間に関する配慮など、運行ルートを計画していく。

【金本】早い時期の父兄への説明会は。

【答弁】工事の進捗状況、入園関係のソフットの部門、通園に関することも含め、10月には父兄の説明会を開催していきたい。



川西こども園建設地

病院事業の今後は

【金本】改修工事予定と医療器具・備品等の購入計画は。

【答弁】大幅な改修予定はない。協定では備品及び医療機器の維持管理等は一般財団法人温知会が行うこととしている。ただ耐用年数がすでに経過している医療機器等の更新については、その経費について町が指定管理者の負担か協議して進めることとしている。

【金本】病院整備基金の今後の資金計画は。

【答弁】福島県病院施設等整備支援交付金を原資として基金を造成した。現在まで基金を取り崩して病院の整備に努めてきた。

猪苗代町病院事業会計においては、収入として見込まれるものがないので、経費を抑えながら、一般会計からの支援をお願いすることとなる。

なお、一般会計が病院事業会計に繰出しを行ったときは、その一部について地方交付税において考慮されることとなる。

【金本】町民の健康管理を受け持つ病院として、町内の病院との連携は。

【答弁】町立病院では町内の医療機関とそれぞれの役割・機能を分担しお互いに連携し、地域医療の質の向上と、医療・福祉を包括した総合的な地域医療体制の確立に努めている。

町民の健康の保持・増進のため指定管理者と一体となり、医療体制の整備に努めなければならないと考えている。



佐藤 悦夫 議員

Q. 小中学校の統合課題と判断は
A. 学校の統合は、喫緊の課題と認識し準備を急がなければと考える

児童減少による小中学校の統合は

【佐藤】少子化に伴い児童数が減少している。町としての考えは。

【答弁】現在の町の実情を勘案すると中学校の小規模校は、部活動の選択の制限など支障がでる。また、小学校の小規模校は、数年後に複式学級の発生が予想され、学校の統合は喫緊の課題と認識し、準備を急がなければと考える。

【佐藤】通学距離や通学時間の基準などの考えは。

【答弁】通学距離は、通常小学校4km、中学校6kmを最高限度と規定されているが、交通機関等スクールバスの整備状況などを勘案し通学距離を設定している。一番遠いところで11・4kmでバス通学である。通学時間の明確な基準はないが、徒歩の場合30分から1時間、バスの場合1時間を上限とし、交通手段による違いを考慮している。

放射能対策の現状・対策・見直しは

【佐藤】原発事故後3年半が経過したが、

全体として線量の現状は。

【答弁】生活環境における線量はかなり低下しており、平均値の比較は、当初より40%ほど低減している。

【佐藤】仮置き場の現状は。

【答弁】3カ所ある一般の方の庭先保管も含み、隔週に一回、巡視、測定している。仮置き場の保管が始まり2年が経過したが破れなどの異常はない。

駅前活性化事業は

【佐藤】猪苗代駅前再整備検討委員会の組織の現状と経過は。

【答弁】平成25年11月と26年2月の2回開催し、現在は駅前広場整備計画図案などをコンサルタントに発注しており、これらを基に、適時検討委員会を開催したい。

【佐藤】ベニヤ板を張り廃屋状態の建物は景観上も問題だと思いが対策は。

【答弁】ベニヤ板を張っているが、建物内への進入防止という意味もあり過渡期ということで仕方がないが景観の問題もあり、どのようなのが良いか検討する。

道の駅事業は

【佐藤】長瀬川から土砂を採取し、道の駅の造成、盛土に利用しようとしているが、水の濁りや放射能等の環境への問題はないのか。

【答弁】水の濁りについては必要以上に想定していない。放射能については、集まりやすい所でもあり採取後に測定し明らかにしたい。

【佐藤】計画全体が遅れているが、建設見直しの考えはないのか。

【答弁】事業費がかさむことは認識している。最終的には町長の判断である。



ベニヤ板張り状の建物、景観上の問題は

野生鳥獣被害の現状と対策は

【後藤】町内の被害はどうなっているか。

【答弁】ツキノワグマ92件、ニホンザル59件、イノシシ22件の農作物等の被害報告を受けている。クマについては、全域で出没がみられ、目撃情報も含めると8月末日で288件、イノシシについては、月輪・吾妻を中心に66件の報告があった。サルについては12群、700頭の生息が確認されている。

【後藤】増えた原因は何か。

【答弁】野生動物の行動はブナや堅果類の豊凶に左右されるといわれ、他にも草藪の刈り払いや間伐等の環境未整備、生ごみや収穫しない作物等が誘引と思われる。

【後藤】発信機の数と、受信に対し集約する組織、仕組みはあるか。

【答弁】被害を与えている5つの群れで個体数は7個。受信機の貸出しを行い、集落で位置情報を確認し、さらに近接警戒システムを利用し、集落で対策を講じることができる。

【後藤】有効な対策を講じた先進地域があるか。

【答弁】白津地区では、独自に組織を設立し、電気柵の設置、専門的な研修会を行っている。今年度から多面的機能支払交付金制度で、長距離電気柵の設置も可能となり、白津・松橋・小田・内野で設置されている。

【後藤】被害防止計画はあるか。

【答弁】「会津北部対策協議会」において、特別措置法に基づいて策定している。被害防止策を実施する場合は交付金が交付される。

廃止される教育施設・行政関連施設の今後の活用は

【後藤】川西こども園の開園に伴い現在の幼稚園、保育所の利活用は。

【答弁】猪苗代幼稚園は解体、他は再利用が可能である。地区の区長にも説明し、地域の活性化、児童対策の施設として活用していきたい。

【後藤】各種団体が（仮称）地域福祉交

流センターに移動後の施設の取扱いは。

【答弁】旧役場分庁舎、六角合同庁舎は、老朽化のため将来的には更地にしたい。旧分庁舎跡地は留保し、六角合同庁舎には裏に倉庫・車庫もあり、それらも勘案し検討する。

【後藤】数年後には廃校が出るが、今後、検討委員会の設置や地域との話し合いをどう進めるのか。

【答弁】教育施設適正配置検討委員会の提言のもと、目標31年度に開校するため、今年度から地区懇談会やPTA懇談会を開催し、ご意見を頂戴し進めて行きたい。



教育施設の利活用は



佐瀬 真 議員

Q. ねまがりたけ問題の来年への対策は
A. 地区のブロック分けをお願いしている

観光客の誘客策は

【佐瀬】フレDCを経て本番DCとなるが、これからの取組は。

【答弁】フレDC用会津版パンフレットでは、観音寺の桜が紹介されたことで観光客が増えたと思われる。本番DCに向けても、連休に咲く当町の桜と蕎麦などの「食」、点在する「温泉」をホームページなどを活用して紹介していく。

【佐瀬】例えば「猪苗代 連休桜」と称しての当町独自のポスターの作成などは誘客について効果的だと思うが、計画などはあるのか。

【答弁】観光協会と連携してパンフレットとポスターなどの販促ツールの整備をしている。

【佐瀬】福島県だけが落ち込んでいる海外からの観光客誘致には、大きな国際大会の開催が有効である。来期のフリースタイルワールドカップ開催を当町が口火を切る考えはないのか。

【答弁】各団体からの打診が無い現在の段階では考えていない。当町の財政面との絡みもある。



ガンバレ 鈴木猛史さん

【佐瀬】世界的にも有名になった、鈴木猛史さんに、例えば「猪苗代スポーツ大使」になっていただき、次期ピョンチャンパラリンピックまで活躍を期待して支援していくなどの考えは持てないのか。

【答弁】現在は考えていないので答弁は控える。

【佐瀬】町の縦割りの仕組みではスポーツイベントと宿泊客の誘客がばらばらになっているように思われるが、「スポーツ・イベント課」のような司令塔的な課の創設は。

【答弁】そのような課の創設は有効的と考えるが、当面各課・各団体との連携をより密接にして誘客に取り組んで行く。

ねまがりたけの問題は

【佐瀬】今回の問題での経済損失と来年以降に向けての収束思案と対策は。

【答弁】特産品であるねまがりたけが全町において販売自粛になったことと他の山菜類への影響により多額の損失があったと思われる。

解除は条件があり難しいと思われるが、面積の広い当町であるので、地区をブロックに分けて、採取可能要素をもった出荷が可能となるように県に要請した。

【佐瀬】今回の問題のような結果は経済損失の点からみても、税収も観光客も減るなどの弊害など影響が大きい、今後の対応は。

【答弁】今回の問題は各所に大きな影響をもたらしている。実害であり、風評被害の拡大もあるのだが、消費者の安全・安心などの食品の安全性を考えると、現在の検査態勢を継続することが必要と考える。

町道の整備は

【渡部】町道の未整備未舗装改良は計画になされているか。

【答弁】第六次猪苗代町振興計画により、計画的に実施している。未着工理由はさまざま、取得困難用地、登記困難用地、道路設計基準もしくは除雪可能幅員の確保ができない、財源の確保、改良の効果が発揮できないなどの理由による。

【渡部】旧町の未舗装道路への取組みは。

【答弁】事業の進捗に必要なものは、地域の理解と協力、安定した財源、建設に関わる人材等の確保の3点が重要と考えている。



秋の収穫をむかえた農家

渡部 博幸 議員

Q. 米のブランド化推進事業の「天のつぶ」の評価は
A. 生産量が少なく品質の担保も一定の評価にとどまる

農業振興は

【渡部】今年度の水稻品種別作付けは。

【答弁】営農計画書の主食米の作付け状況は、ひとめぼれ1214・5ha、ひめのもち220・8ha、あきたこまち184・7ha、天のつぶ33ha、その他70・6haで、計1723・6haとなっている。

【渡部】不作の年のブランドの危機対策は。

【答弁】県のオリジナル品種として開発された天のつぶは奨励品種であり、標高面の推奨は300mで冷害に弱い。栽培が安定的にできるよう県からの資料をもとにマニュアルを作成した。

【渡部】今後、どのように作付けを増やすのか。

【答弁】集落推進員の説明会の中で、天のつぶについて説明し、種子の注文や作付けをお願いし、将来の主力品種にしたい。

【渡部】高品質、良食味を実現するため、栽培法の統一等の必要があると思うが。

今後の県農業賞への取組みは

【答弁】ブランド化を進めるには高品質が絶対条件であり、「猪苗代町農業技術者連絡協議会」が主体となり取り組みをいただいている。

【渡部】天のつぶの認定生産、今後の推進の取組みは。

【答弁】要綱ができ募集を始めたばかり。今後は認定生産者の募集を行う。町内の飲食店、ホテル、旅館に説明会を開催し認定を受けていただく。

【答弁】福島県農業賞は、今回で55回を迎えこれまで10人が受賞されている。本年度も農業経営改善部門で神田功夫妻が受賞され、今後も意欲をもって取り組む農業者を積極的に推薦していきたい。

【渡部】農業後継者の海外派遣事業の取組みは。

【答弁】ここ数年は希望者がいない状況。この度、研修生募集の案内があり、各関係組織、認定農業者会等に周知募集したい。



渡辺 真一郎 議員

Q. 米に依存しない農業への転換は
A. 新たな産地化作物を考え支援する

農業政策の見直しは

【渡辺】農地中間管理機構の状況と、集落推進員制度見直しは。

【答弁】農地借受希望者は25人。出し手は「人・農地」プランによる。現行の集落推進員制度を継続する。担い手は水田に限れば、66・8％で、県内でも集積率が高い。

【渡辺】米消費減対策と、新たな農産物への転換は。

【答弁】米消費減対策として米のブランド化を図り、海外需要にも取り組む。また、従来の転作で農地化を推進した園芸作物に加え、新たな産地化を期待できる作物を考え奨励、支援する。

米の品種はひとめぼれから天のつぶへ切替えていきたい。高冷地向けにあぐりいな試験栽培のふくしま30号を県の推奨品種に進める。



米の価格はいかに

固定資産税の課税見直しは

【渡辺】空家なのに固定資産税の軽減特例措置を受けている宅地の実態把握は。空家の解体を進言したこと、またする予定はあるか。居住困難住宅の税減廃止はできないか。空家の撤去は補助金がでるが使用例はあるか。空家管理条例の制定の意向は。土地改良事業で非農地扱いの課税は。

【答弁】空家情報は近隣住民や区長と把握に努めている。解体の進言例はないが危険なもの是要請したい。建物の老朽化だけで税の特例措置

はできない。空家再生等推進事業での本町使用例はない。空家管理条例制定は、国の特別措置法制定を待っている。非農地の固定資産税評価は近隣の住宅用地に準じている。

ふるさと納税の推進は

【渡辺】ふるさと納税の手続き簡素化や上限の増額で国は地方の活性化を図る方針だ。県内でも特産品の贈呈で納税増を図る市町村が増加している。全国の市町村との競合も激化している。町としても素早い対応が必要ではないか。

【答弁】2015年度より拡充の検討に入ったとあったので今後の経緯を注視し対応したい。特産品の贈呈は華美にならないようにとの県の指導や総務省の通知があった。本制度の趣旨に則り、節度を守りながら寄付者への感謝の意を込めたものにするを原則に検討していきたい。

農業振興対策は

【五十嵐】収穫を目の前にしているが、米作付け・転作状況は。

【答弁】主食用米が1723・6ha、転作物の備蓄米387・08ha、飼料用米22・55ha・加工米3・55ha、wcs用米25・43ha、合計2162ha。昨年よりは減少しており、備蓄米については希望どおりの数量となった。

【五十嵐】今年から、米の直接支払交付金は減額され、今年の米価の下落に対して町独自の支援の考えは。

【答弁】本年度、収入減影響緩和対策に本町では139人が申請されており、今後も当該制度に加入できるよう推進していく。それ以外の農業者については、本年度限りの移行制度として、価格が下落した差額の一部34％程度、国が補填することになっている。町独自の支援が必要となった場合には財政事情も勘案し検討したい。

子育てしやすい町づくりは

【五十嵐】川西認定こども園の開園見込み及び送迎方法は。

【答弁】平成27年4月の開園を目指している。園児の送迎方法は、0歳から2歳児の園児については、保護者の送迎。3歳以上の平常保育(午前8時30分から午後2時まで)の園児は通園バスの送迎。3歳以上の園児で長時間保育を希望される場合には、園児の登園降園時間がそれぞれ異なることから保護者の送迎をお願いする。

【五十嵐】保育所は地域に置くべきと思うが存続の考えは。

【答弁】適正配置検討委員会の提言書にあるように、中の沢保育所は、利用者がある場合には存続する。他の保育所の存続は考えていない。

【五十嵐】川西認定こども園開園後の待機児童の見込みは。

【答弁】現在の待機児童は解消される見込みである。

防災行政無線(固定局)の状況は

【五十嵐】防災行政無線の個別受信機の設置についての考えは、数は。

【答弁】屋外拡声器の音の伝達範囲からみれば460の世帯、行政区長宅、集会所(行政区は109)に設置している。各家庭への設置については多くの財源が必要になり考えていない。



廃園となる猪苗代保育所

※「WCS」:(ホールクロップサイレージ) 稲の実と茎葉を同時に収穫し発行させた牛の飼料。WCSの利用は、水田の有効活用や食料自給率向上に貢献する、と関心を集めています。



五十嵐 ミエ子 議員

Q. 米価の下落に対して町独自の支援は
A. どのような支援がよいのか検討したい

委員会レポート

文教厚生常任委員会

視察地：大阪府熊取町・兵庫県多可町

子育て支援策について（熊取町）
町全体で、子育てを応援しようという「まちじゅうが子育て応援団」の意識を広め、平成18年度に子どもに関する保健・福祉・教育を1つにまとめ「子ども家庭課」を設置した。学校や保育所と年間100回程度支援会議を開催している。

図書館は子どもの読書活動優秀実践図書館として文部科学大臣表彰を受けており、蔵書数は35万冊、児童書は12万冊である。図書館が子育て支援の様々な教室を行っていることに特徴がある。

平成25年10月には旧保育所を利用し教育・子どもセンターがオープンした。学校教育課、子ども家庭課が入り、相談室も完備し、つどいの広場事業、ファミリースポーツ事業、ホームスタート事業の事務所も入っている。

歴史・文化を活かしたまちづくりについて（多可町）
ベルディーホール（文化会館）は平成2年にオープンし、616席のホールと、300人収容の会議室がある。ホールは、まちづくり運動からできたものであり、まちづくりの視点でまちの価値をあげていく活動を展開している。

那珂ふれあい館は平成16年に開館し、多可町の歴史・伝統文化の調査、研究、普及、地域の歴史の学習の拠点となっている。啓発事業として、多可町を題材とした歴史



子育て支援を担う熊取町図書館

意見
熊取町はすべての子ども一人ひとりを大切に、人と人との相互理解、関係づくりを支援し、その関係の中で新たな取り組みを創造していくという、「子育て支援がまちづくり」という強い情熱が伝わってきた。当町でも子育て支援は相当に行われているが、それがもっと魅力的なものとなるように努力すべきであるし、内外にコミニカルできるようにすべきである。

多可町では、歴史と文化をうまくまちづくりに活かしていると感じられた。当町にもそれらに負けない歴史・文化があり、その事を内外にもっとアピールして定住化促進の一役を担えるようにすべきである。

総務常任委員会

視察地：青森県おいらせ町・六ヶ所村

防災対策について（おいらせ町）
①防災基本条例の策定
住民参加型の策定委員会を設置し12月定例会に提案の予定である。

②個別無線機の整備
近隣に自衛隊と米軍の基地があり、防衛施設周辺民生安定施設整備事業を活用し整備した。

③ほつとするメール
安全安心情報システムの愛称であり、緊急情報や気象、火災、防犯、交通安全等地域の情報を登録した方にメールで知らせている。

④災害時要援護者名簿の作成
一人暮らし高齢者等で、災害時の安否確認等が必要な場合、本人が了解すれば台帳に登録している。

新エネルギーを活かした地域振興について（六ヶ所村）
①現在までの概要
風力・太陽光などの自然エネルギーと既存施設の調和した町づくりを目指してきた。

②エネルギーパーク
平成22年に開業し、全国からの来村で地域振興につながっている。

③蓄電池施設活用の風力発電所
町内公共施設への非常電源を確保する目的で役場等8カ所へ整備。

④国際核融合エネルギー研究センター
フランスの国際核融合実験炉への支援への拠点となる施設。



国際核融合エネルギー研究センターを見学

意見
【おいらせ町】
ほつとするメールは多額の予算を必要とせず、希望者に緊急連絡が可能で、導入を早急に検討すべきである。暴風雪や台風、異常気象や災害の状況、インフルエンザ情報などをリアルタイムで知ることができれば効果は大きい。災害時要援護者の名簿作成も、早急に作成作業を進める必要がある。

【六ヶ所村】
道の駅内に、小水力発電や地熱、太陽光発電などを対象にした再生エネルギーテーマパークを建設してはどうか。特に修学旅行の見学場所に有効と思われる。また、災害による停電に備えて公共施設に電力を供給できるよう、蓄電池併設の再生エネルギーを利用した発電設備の建設も望まれる。

あなたの声を審議しました!!

9月定例会で審議された「請願」の結果は次のとおりです。

区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果	区分	件名 請願者の氏名	紹介議員氏名	付託委員会	審議結果
請願	町道側溝の改修に関する請願 三城潟区長 釣巻徹	細功 貝人	経済建設	継続審査	請願	町内に増え続ける「空き家」問題への有効対策推進に関する請願 小澤正	五十嵐 ミエ子	総務	採択
請願	翁島コミュニティセンター前水路整備に関する請願 三城潟区長 釣巻徹	細功 貝人	経済建設	不採択	請願	農業委員会、企業の農地所有、農協改革など、「農業改革」に関する請願 会津農民運動連合会 会長 根本光一	五十嵐 ミエ子	経済建設	継続審査
請願	「手話言語法制定を求める意見書」の提出を求める請願書 一般社団法人福島県聴覚障害者協会 会長 吉田正勝 他2名	五十嵐 ミエ子	文教厚生	採択	請願	政府による緊急の過剰米処理を求める請願 会津農民運動連合会 会長 根本光一	五十嵐 ミエ子	経済建設	継続審査
請願	旧さる川のU字溝埋設工事の区間延長についての請願 八千代区長 阿部健一 他1名	佐 真	経済建設	採択					



請願箇所を調査する委員

【委員会の同意】
次の方を教育委員に任命することについて、議会全員一致で同意しました。
鈴木 兵市 氏（西久保）

【委員会提出議案】
「手話言語法」制定を求める意見書
【提出者】 文教厚生常任委員会
【内容】 手話が音声言語と対等な言語であることを示し、手話を使った情報の提供やコミュニケーションが補償され、社会に自由に参加できることを目指す「手話言語法」を制定するよう要望する。

【提出先】 内閣総理大臣・総務大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣
賛成全員 可決

経済建設常任委員会

視察地：山梨県富士河口湖町・神奈川県箱根町

山と湖を活かした観光の現状
富士河口湖町は面積158km²、標高868mの高原であり、首都圏より100km圏内で高速道路や電車の路線も充実している。平成26年4月の人口は2万6326人。産業別就労者の約70%が第3次産業（観光業）に従事している。

観光資源として、富士5湖のうち4つが町内にあり富士箱根伊豆国立公園内にある。平成25年度の観光客数は390万人で、特に富士山世界遺産登録後は外国人宿泊数が13%伸びており、日本人は5%減少している。予想以上の外国人観光客の増加で標識や看板、宿泊施設の受け入れが追いつかない状態である。

また、世界遺産になったことで規制に違反するものは環境省から改善を求められ、今後積極的な環境保全に努めなければならないなどの課題がある。

箱根町は面積92km²、標高730mの高原であり東京から約80kmの距離にある。平成26年4月の人口は1万3095人。主な産業は観光産業で多くの人が関連産業に従事している。平成25年の観光客数は2085万人で宿泊客471万人、日帰り客は1614万人。

温泉場は17湯の良質な温泉がほぼ町内全域にあり、観光施設は美術館や動植物園、歴史資料館や箱



富士河口湖町で「山と湖を活かした観光」を学ぶ

意見
根拠伝ミュージウムなど20カ所以上ある。

これからの課題は、2020年の東京オリンピックの誘客のための環境整備である。

①町の観光は将来どうあるべきか
アンケートやフリートークの場を設け町民の声を聞くことが重要である。

②町は視察地より雄大な山や湖の自然があり、それらを活かした総合的・長期的な観光プランを作成する必要がある。

③有識者や旅行エージェンツなど客観的な立場から町の将来の可能性についてアドバイスを受ける。

④国際的な観光地を目標とするには近隣市町村と協力して国、県への積極的な働きかけが不可欠である。

町民の声



長瀬地区
神 輝 男 さん

町民の皆様 期待をこめて

猪苗代町を含むあらゆる地方自治体は国が示す地方再生戦略に期待をするところです。我が町の再生は町を愛する町民の意識力で良くも悪くも左右されると思います。

私は行政の根幹は町民がどれだけ町政に関心を持ち、町政に多くの人が参画することにあるのではないかと思います。これこそが議会や町政をさらに活性させる方法ではないでしょうか。

私たちは長年この土地に住み慣れていることから、猪苗代が素晴らしい環境であることを忘れている方々が大半ではないでしょうか。

はないでしょうか。大事なことは多くの町民が良い環境であることに、認識を持つて客観視されているかが大変重要に思います。

我が町を客観視することで、常に新しい時代に対応出来る態勢が担保されるからです。少子高齢化の問題も合わせ、人口の減少は地域の素晴らしい将来が、確保できるかどうかの危機であります。

ハードとソフトの町事業の取組みにしましても豊富な税収をキープすることで、財政に体力を温存しなければなら

ないはず。私はこの問題に町民が自分たちに降りかかる危機と認識を持ち、打開策を真剣に考えなければならぬと考えます。国の政策である地方再生戦略も有難い話ではありますが、まず私たち町民一人一人が町政に関心を持つて、積極的に参画することが先決であり、猪苗代町の明るい未来づくりにつながるのではない

議会の行事

議長杯ソフトボール大会

8月24日に運動公園にて開催され、「S・Pキング」が見事優勝されました。おめでとうございます。



議長杯ゲートボール大会

9月17日に運動公園町営コートにて開催され、議会チームも2チーム参加しました。「西久保Aチーム」の皆さんが優勝されました。おめでとうございます。



傍聴においで下さい

**12月議会は
12月1日(月曜日)
開会予定です。**

【一般質問予定日：4日(木)・5日(金)】

※質問者・質問内容については12月1日以降に町のホームページ（議会事務局）に掲載します。また各公共施設にチラシを掲示しますのでご覧ください。

掲示施設名

- ・役場町民ホール
- ・学びいな
- ・和みいな
- ・カメリーナ
- ・町立猪苗代病院
- ・老人福祉センター
- ・如風庵
- ・まちのえきまるしめ

議会広報編集特別委員会

細貝 功 人

委員長 佐藤 光幸
副委員長 金本 久美子
委員 佐藤 真
委員 細貝 功
委員 佐藤 悦夫
委員 佐藤 英一郎
委員 長沼 一夫
議長 長沼 一夫

編集後記

九月定例議会も無事終了し、実りの秋を迎えようとしています。

町内的には、各種の催しが行われ、老若男女が精一杯自分の力を出し切った町民運動会、お年寄りの元気に力を得た敬老の集い。対外的には市町村対抗軟式野球大会、結果は残念でしたが、応援して若者の一生懸命さが伝わり、当町の若い力を感じました。

私自身も有言実行で、議会活動に邁進する思いが強まり、広報委員全員の結束で広報紙を作成していきます。

高齢化・少子化対策等課題は山積みですが、努力すれば報われることを信じ、町民の方に見守られ、助言を得ながら議員活動に励んでいきますので、議会にも是非足を運んでいただき、皆様のご意見をお聞かせください。